

2022年3月期(第25期) 決算説明資料



2022年05月26日

2022年3月期 決算概要 (2021年4月1日~2022年3月31日)



アイロムグループ概要

再生医療・遺伝子技術の

研究開発・製造販売

(株)IDファーマ / (株)ICELLEAP (株)イン

アカデミア・バイオベンチャー 製薬企業の臨床試験支援

㈱アイクロス / ㈱CMAX JAPAN CMAX Clinical Research Pty Ltd



臨床試験実施 医療機関の支援

(株)アイロム / (株)アイロムCS (株)アイロムNA / (株)アイロムEC (株)アスボ

クリニックモールの 開設・運営

㈱アイロムPM

会社概要(2022年3月31日現在)

商号 株式会社アイロムグループ

設立 1997年4月9日

本社所在地 東京都千代田区富士見2-10-2

代表取締役社長 森 豊隆

市場 東京証券取引所プライム市場(コード:2372)

資本金 38億79百万円

従業員数 連結:981名(準社員含む)

New Corporate Identity-

●ブランドプロミス

●ブランドシンボル

憂いなき未来のために。

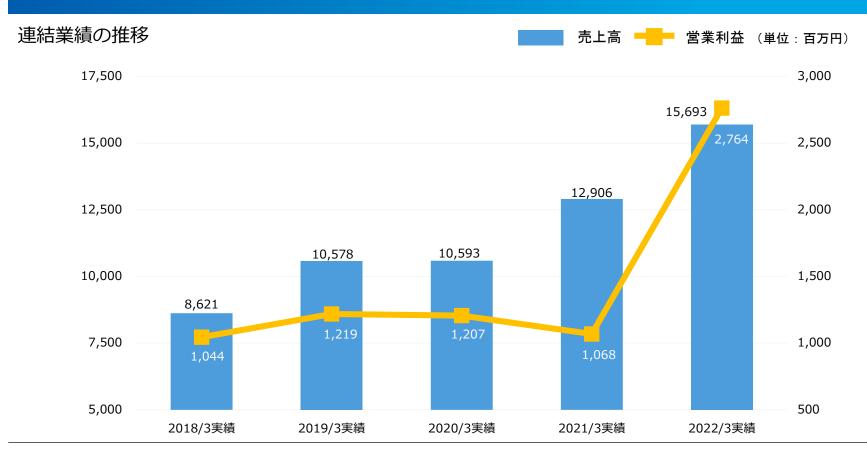


I'ROM GROUP

2022年3月期 連結業績

	2021年3月期 (第24期) 実績	2022年3月期 (第25期) 実績	前期比 増減率
売上高	12,906	15,693	21.6%
営業利益	1,068	2,764	158.8%
経常利益	1,352	2,562	89.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,373	1,961	42.8%
(単位:百万円)			

2022年3月期 連結業績



成長シナリオ・中期計画

2016年5月25日決算決明資料「成長シナリオ」



【2022年3月期】成長シナリオの各目標を達成

- √ 収益性の確保
 - → 売上高15,000百万円超を達成 営業利益・経常利益・純利益全てで過去最高益
- ✓ 事業間シナジーの顕在化
 - → ハイブリッド型総合臨床開発支援(SMO×CRO) 先端医療開発の総合的な医薬品開発支援(先端医療×CRO) 自社開発医薬品の開発体制整備(SMO×CRO×先端医療事業×メディカルサポート)
- √ 長期的戦略に向けた準備
 - → センダイウイルスベクター技術による先端医療の開発推進 先端医療技術を応用した製品の開発・販売・受託製造

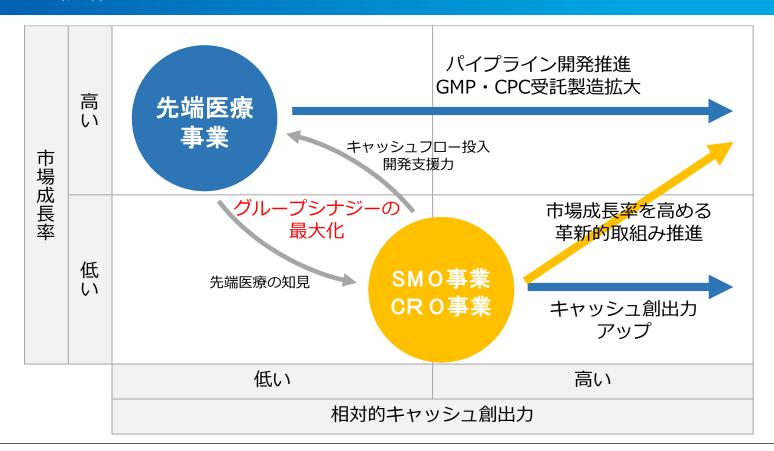
~2014.3 2015.3 2016.3 2017.3 2018.3 _{2019.3}

2020.3

2021.3

2022.3

グループ戦略

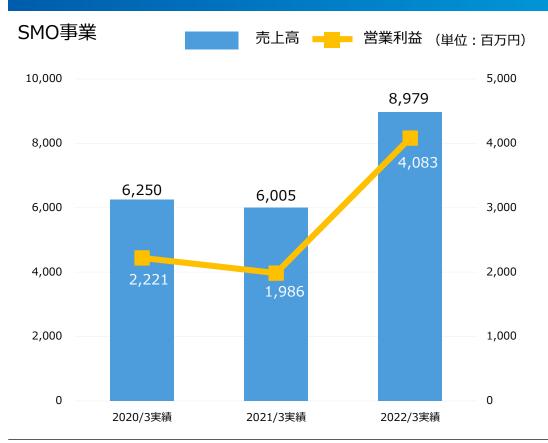


セグメント別業績及び 各事業の概況



	2021年3月期実績			2022年3月実績		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比	
	営業利益	売上高比	営業利益	売上高比	増減率	
	6,005	46.5%	8,979	57.2%	49.5%	
SMO事業	1,986	33.1%	4,083	45.5%	105.6%	
	3,216	24.9%	4,815	30.7%	49.7%	
CRO事業	86	2.7%	378	7.9%	339.8%	
	1,061	8.2%	858	5.5%	\triangle 19.1%	
先端医療事業	11	1.1%	△439	-%	-%	
	2,604	20.2%	1,024	6.5%	△60.7%	
	321	12.3%	221	21.6%	△31.2%	
	12,906	100.0%	15,693	100.0%	21.6%	
<u>合計</u>	1,068	8.3%	2,764	17.6%	158.8%	
(光/六. 五十四)						

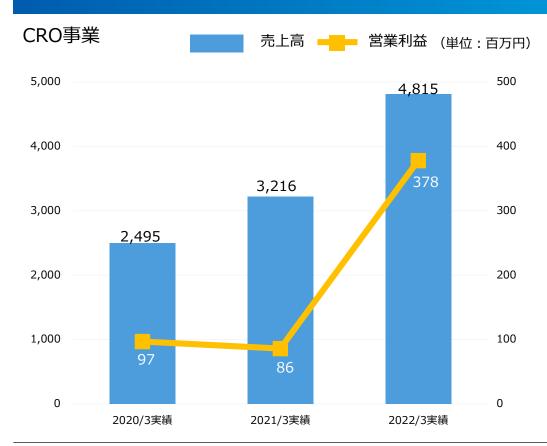
(単位:百万円)



- がんセンターや大学病院等の基幹病院との提携が 引き続き拡大し、アンメットメディカルニーズが 高い領域への人的資源の投入を継続的に促進
- 期中に受託した新規の大型案件が順調に進捗した ことにより、業績が大きく伸長
- グループSMO各社のCRC/SMA業務プロセスの一層の標準化・効率化を推進し、グローバルスタンダートに準じた高品質な支援体制の構築を推進

CRC: Clinical Research Coordinator (治験コーディネーター)

SMA: Site Management Associate (治験事務局担当者)

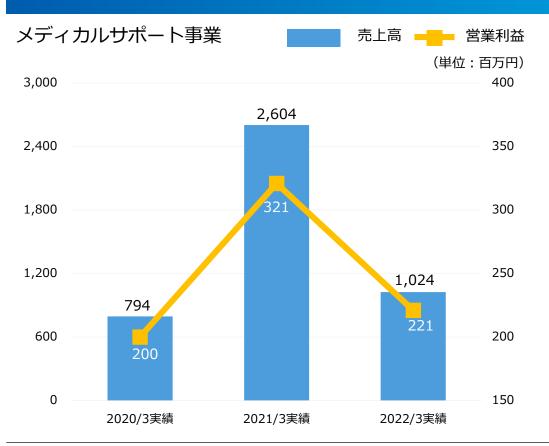


- オーストラリアの臨床試験実施施設において、米 国及びアジア地域の製薬企業からの新規試験の受 託が拡大し、業績が大きく伸長
- 国内の開発業務支援において、統計解析分野の強みをさらに強化し、バイオ統計を主軸とした臨床 試験のコンサルティングやライティングの体制整備を推進
- 国内の臨床試験実施施設において、新規試験の受託が拡大するとともに、グループ開発業務受託機関との連携によるワンストップでの臨床試験支援体制の構築を促進



- COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) ワクチンの開発において、経鼻接種によるウイルスベクターワクチンの実用化を目指し、臨床試験の実施に向けた準備を推進
- IDファーマが開発した、CRISPR-Cas 9 の課題を 克服する安全な新規ゲノム編集技術について、日 本における特許査定を受け、特許権が成立
- iPS細胞培養上清液を化粧品原料に使用した 「iPSスーパーネイタントアプリケーション®」の 販売が堅調に推移するとともに、OEM(受託製 造)の受託拡大を推進

OEM: original equipment manufacturer



- クリニックモール事業が堅調に推移し、 安定した売上高、利益を確保
- 先端医療事業の新規ベクター製造施設の建設支援 を行うなど、引き続きグループの各事業の推進・ 拡大をサポート
 - ※2021年3月期の実績には不動産販売等による売上および 利益が含まれております

2023年3月期 業績計画 (2022年4月1日~2023年3月31日)



2023年3月期 連結業績計画

		生 生 生 生 養	2023年3月期 計画	前期比 増減率
売上高		15,693	16,500	5.1%
営業利益		2,764	3,000	8.5%
—————————————————————————————————————		2,562	3,000	17.1%
親会社株主に帰属 ^で 当期純利益	する	1,961	2,100	7.1%
[セグメント別計画]	SMO事業	CRO事業	美 先端医療事	業 メディカル 業 サポート事業
売上高	9,000	4,00	00 2,50	0 1,000
営業利益	4,000	1,20	00 △1,00	0 200

資料取扱い上の注意

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点での 入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んで おります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接又は間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。

【IR問い合わせ先】 株式会社アイロムグループ 社長室: 小島・竹内

TEL: 03-3264-3148